

第29巻第1号が発刊される頃は2024年を迎えていると思います。ダイヤモンド・プリンセス号から始まったパンデミックから4年が過ぎました。病院内の制限はまだ残っていますが、日常生活はかなり戻りました。この間に大きく変わったことの一つが学会の総会ではないでしょうか。ハイブリット開催が当たり前となり、ある意味大変便利になりましたが、以前のように人であふれかえるような総会がないことに寂しさを感じています。

さて、本号は、原著3編、症例報告5編、私の工夫1編、video articles 2編、アンケート報告1編、Letter to the Editor 1編を掲載しております。原著では、ロボット支援胃切除後の皮下気腫発生率低下の工夫はロボットを扱う科で領域横断的に参考になると思います。また、完全直腸脱に対して腹腔鏡下直腸固定術を行う際に術中経肛門的吸引試験により術中に直腸脱を再現し、術式を選択し再発率を低く抑えています。われわれの産婦人科医が扱う骨盤臓器脱に対する仙骨脛固定術にも生かせる情報が満載でした。次に、手掌多汗症に対する胸腔鏡による交感神経遮断術が行われていることを、恥ずかしながら初めて知ることができ、更年期障害にも実はこのような症例があったのかもしれないと領域横断雑誌ならではの知識を広げることができました。症例報告では、上大静脈に接する特発性奇静脈を胸腔鏡で切除した症例や腹壁癒痕ヘルニア嚢内の魚骨穿孔に対する腹腔鏡手術の症例など、低侵襲手術に関連した稀な症例が満載です。私の工夫では、TAPP法におけるメッシュ固定の方法として、現在さまざまな領域で使用されているBarbed sutureを使用した工夫が紹介されています。第28巻第6号から始まったvideo articlesでは、結腸・直腸癌に対するロボット手術が5分弱のvideoでまとめられています。

また、本号では高齢化した過疎地域の病院で行われた遠隔手術への関心や理解度についてのアンケート結果、都市部の医師不足の病院で産婦人科と外科が協力して腹腔鏡手術を行っている現状など、手術技術以外の興味深い記事も掲載されております、ぜひご一読ください。

(太田啓明)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第29巻 第1号) 2024年1月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

(1部) 価格: 3,080円 (本体2,800円 + 税10%)

2024年 年間購読料: 18,018円 (税込) *学会員は学会ホームページから閲覧できます。

編集・発行: 日本内視鏡外科学会 (理事長: 北川雄光)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 日本コンベンションサービス株式会社内

☎ 03-3503-5917 Fax 03-3508-1257 E-mail: info-jses@convention.co.jp (担当: 平澤)

<http://www.jses.or.jp>

発 売: (株)医学書院 (代表: 金原 俊) (本誌担当: 小山, 小路)

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 / E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売・PR部直通 ☎ 03-3817-5659 (Fax 03-3815-7804)

電子出版コード 260F2600029001000000

- ・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は日本内視鏡外科学会が保有します。
- ・本誌を無断で複製する行為は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療、研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・JCOPY (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物) 本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(株) 出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。